

## 第 91 回(H27 年度第 5 回)MT 委員会議事録

日時: 2015 年 9 月 2 日 13:30-15:00

場所: RIBF 棟 2F 小会議室

出席: 酒井<sup>a</sup>(委員長)、福西<sup>a</sup>、上垣外<sup>a</sup>、加瀬<sup>a</sup>、奥野<sup>a</sup>、櫻井<sup>a</sup>、下浦<sup>b</sup>、上野<sup>a</sup>、上蓑<sup>a</sup>、若杉<sup>a</sup>、山口<sup>b</sup>、  
今井<sup>d,†</sup>、羽場<sup>a,†</sup>、本林<sup>a,†</sup>、吉田光<sup>a,†</sup>、大津<sup>a,†</sup>、田中<sup>a,†</sup>、岸本<sup>a,†</sup>、吉田敦<sup>a,†</sup>、稲辺<sup>a</sup>久保代、  
米田<sup>a</sup>

欠席: 延與<sup>a,†</sup>、阿部<sup>a</sup>、久保<sup>a</sup>、宮武<sup>c</sup>、森本<sup>a</sup>、上坂<sup>a</sup>、森田<sup>a,†</sup>

<sup>a</sup>RNC / <sup>b</sup>CNS / <sup>c</sup>KEK / <sup>d</sup>RIBF-UEC / <sup>e</sup>MSU / <sup>†</sup>Observer

(順不同・敬称略。以下同様)

### 【報告】

#### 1. MT 実施状況(米田)

MT の実施状況について報告があった。前回 MT 委員会以降、週末のみ MT を実施している。8 月 3 日以降は MT を実施せず、8 月最終週の週末から再開した。

#### 2. 研究記録保存実施状況(米田)

研究記録保存の実施状況について報告があった。7 月実施の MT までの実験について調査した結果、ほぼ全件の MT で記録保存が実施されていることが報告された。

#### 3. PAC 進捗状況(米田)

PAC の進捗について、以下の報告があった。

- ・ 16th NP-PAC:(12/3 - 5)  
9 月に中旬に、call for proposals を出す。10 月 22 日を課題提出締め切りとする予定。
- ・ 12th ML-PAC:  
旧施設実験の消化具合、RAL の実験の様子から、次回予定を検討中。
- ・ 4th In-PAC:次回未定。

### 【議題】

#### 1. 前回議事録承認(酒井)

#### 2. マシンスタディ申請

- ・ 有償利用実験のためのマシンスタディ(吉田敦)

有償利用実験に向けたマシンスタディが提案され、審議された。12 月に <sup>40</sup>Ar を使って E5A で有償利用実験が予定されているが、その前に飛程の制御などが計算どおりできることをビームを使って確認する。9 月 30 日の生物照射実験後 2.5 時間を予定している。

審議の結果、申請どおり 2.5 時間の測定を認めることとなった。

### 3. 2015 年度下期 MT スケジュール(酒井)

2015 年度下期の MT スケジュール案が共用促進より提示され、審議された。前回提案どおり、 $^{238}\text{U}$  を 10 月 11 日の停電後に加速し、約 1 ヶ月で ImPACT 実験を含む 3 実験課題を実施する。その後  $^{48}\text{Ca}$  ビームに切り替え S 課題の NP1312-SAMURAI21 を実施した後、12 月 4 日に終了する。11 月下旬に仮配分していた旧施設課題 1 件が実験グループからの要望でキャンセルとなった。それぞれの実験課題について使用計画書が提出され、ほぼ全件安全審査を完了しており、残り数件も微修正の後審査完了する見通しである。

審議の結果、共用促進からの提案どおり実施することが承認された。

### 4. 2015-16 年間 MT 計画(酒井)

2015 年度下期から 2016 年度上期の MT 計画の概略が共用促進から提示され、意見の招集が行われた。来年度 4 月以降はまず  $^{238}\text{U}$  の実験を実施することを想定しており、その後のビームの計画は来年度の運転予算がはっきりしてから改めて議論する。来年度の新施設運転時間については最長 8 ヶ月の可能性が残っており、12 月下旬に明らかになる。 $^{70}\text{Zn}$  を RILAC2 から供給して強度の増強を目指す計画については、放射線関連の変更申請が必要で、来年度秋以降になる。また RILAC2 のイオン源から  $^{70}\text{Zn}$  をだすには試験が必要であることが指摘された。8 ヶ月運転となった場合、夏期期間の週末のみの運転を平日も運転できるように変更して欲しいとの要望があった。

### 5. NP-PAC Proposal Cover Sheet 変更(米田)

NP-PAC の際実験提案の表紙につけるカバーシートについて変更が共用促進から提案された。In-house contact person を参考情報として任意に記載できるようになっていたものを、役割がはっきりしないものなので削除することが提案されたが、提案されている実験について聞ける方が身近にあると助かることもあるという指摘があり、残すこととなった。

### 6. NP-PAC Call for Proposals 記載内容(米田)

NP-PAC の Call for Proposals に記載する今後 2 年間のビーム種の計画について議論が行なわれ、以下のように記載することとなった。

Fiscal Year 2016:  $^{238}\text{U}$ , (Light ions,  $^{48}\text{Ca}$ ,  $^{70}\text{Zn}$ ,  $^{78}\text{Kr}$ ,  $^{124}\text{Xe}$ )

Fiscal Year 2017: (open)

### 7. 次回以降 MT 委員会の日程

- 次回 MT 委員会は 10/20(第 3 水曜日) 15:00 – で調整する。
- 次々回 MT 委員会は 11/17(第 3 火曜日) 15:00 – で調整する。
- 3 月の MT 委員会は 3/16(第 3 水曜日) 15:00 – で調整する

(以上)